



いきがい高知

書 浜田尚川氏

高齢者の
元気な働きで
明るい社会
No.90

発行／公益社団法人高知市シルバー人材センター 〒781-0802 高知市丸池町1-1-14

TEL088-882-3839
e-mail kochi-sc@sjc.ne.jp

2023・7



みんな元気笑顔

令和5年度 第43回 定時総会が開催されました

も
く
じ

第43回定時総会	2-3	ブロック長にきく	6
感謝状・会員表彰	3	お城下歴史探訪・事務局に新しいスタッフ	7
令和4年度ブロック総会	4-5	会員ひろば	8
第43回定時総会・ブロック総会を取材して	6		

シルバー人材 高知

検索

「高知市シルバー人材センター」
スマホで読み取り▶





令和5年度

第43回 定時総会

日時：令和5年5月31日（水）13時30分
場所：高知会館 2階 白鳳の間

会員総数 1,017名
委任状提出者 565名
出席者 188名

理事長挨拶



本日は、令和5年度高知市シルバー人材センター定時総会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

また、日頃から格別のご支援・ご協力を賜っております。高知市長岡崎誠也様、高知市議会議長平田文彦様、高知労働局長中村克巳様を始めとする関係機関の皆様には、公務・ご多忙のところご臨席を賜り、誠にありがとうございます。重ねて御礼申し上げます。

そして本日、感謝状、表彰状を贈呈させていただき皆様、ご支援・ご貢献に感謝申し上げます。

本日の会員出席者は188名という報告が先ほどございましたが、当センターの総会が、これだけ多くの皆様にご出席いただき開催されますのは4年ぶりという事で、本当にうれしく思っております。さて、会員の皆様には、3年を超えてコロナ禍の中の就業は、色々々ご苦

労があったことと思います。皆様のご尽力により、昨年度の当センターの業績は、契約金額で4億3千4百万円余りとなっております。これは前年度を百万円足らずですが上回っており、過去最高額を更新しています。あらためてシルバー事業が地域に必要とされてきた結果であり、就業により社会を支え、地域に貢献をしてこられた皆様に心から感謝申し上げます。

一方、会員数につきましては、2年連続で減少し、昨年度末で1,030名となり、コロナ禍前よりも減少しております。会員数が多いことで多様な地域の要望に対応することが可能となり、シルバー人材センターの強みとなりますので、会員拡大は今後の重要な課題と考えています。

今年度につきましては、ここ数年の懸案事項であった消費税のインボイス制度が10月から開始されます。円滑な開始に向けてしっかりと準備を進めなければなりません。

また、コロナ感染症の5類移行等により社会経済活動が活発となることが見込まれますので、これを追い風として当センターでも就業機会の拡大や会員拡大につなげることができればと考えています。

市長祝辞



岡崎誠也 高知市長

そして、今後も多様な地域の要望に対応し、社会に貢献するシルバー人材センター、会員の皆さんが「いつも元気で、笑顔でいられる」魅力的なシルバー人材センターを目指していきたいと思っておりますので、皆様には引き続きご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。結びに、一昨日には四国地方の梅雨入りが発表をされまして、これから過ごしづらい季節となっております。皆様には健康に十分留意をされ、ますますご健勝でご活躍されますことを祈念いたしまして、開会にあたりましてのご挨拶といたします。

4年ぶりに対面による総会に多くの方々にご出席し開催されましたことを、お慶び申し上げます。皆様方には大変お世話になっておりまして、ありがとうございます。

さて、3年間にわたるコロナ禍についてです。令和2年2月から始まり、このように長期間続くとはいずれも予想していません。この間、皆様方がさまざまな仕事や活動において制約を受けたことを推察するところであり、大変ご苦労があったことと思います。また、コロナ禍の中で事業所全体が売

り上げの減少を経験している中、令和4年度においても契約額をほぼ落とさずに契約を獲得されたことに敬意を表します。特に事務局の皆様方には、約1年間で4億円を超える仕事を成し遂げられたことに、心からの敬意と感謝の意を表します。

また、当シルバーで始められたワンコインのサービス事業も高齢化が進む中で非常に喜ばれております。五百円という低価格でのサービス提供は、事務局からは赤字になるとの話も聞いておりますが、それにより多くの市民の方々に喜ばれていることに感謝申し上げます。私自身の亡母も、電球の取り換えなどで困ってございました。そのような事例を含め、ゴミ出しやその他の日常生活の問題において、ご近所の方々との協力が大変重要だと思えます。今後さらなる高齢化が進む中で、ワンコイン事業は非常に喜ばれているというのを聞いております。

ご存知のとおり、コロナウイルスの感染状況が第2類から第5類に変わりました。予防接種については、65歳以上の方については春と秋の年2回の接種を推奨するという国の制度が導入されました。春の分の接種券は既に配布されたかと思いますが、また接種を迷われている方もいらっしゃるかもしれません。

具体的な制度としては、65歳以上の方は春と秋に2回接種する必要があります。それ以外の年齢層の方は秋に1回の接種となります。高知県は感染があまり広がっていないことですが、特に瀬戸内海の地域では高松市や松山市などで感染が増えてきているようです。したがって、気になる方は接種を受けられ



以上、ご挨拶とさせていただきます。
(要約文)

皆様方のご活躍に心から敬意を表します。また、私たちが常に事務局からの要望をいただいております。全てに対応することはできないかもしれませんが、シルバー人材センターの仕事の確保に向けて出来る限り努力してまいります。どうかよろしくお願いいたします。

発令されていますが、高知県ではまだ発令されていないようです。しかし、今後警報が出る可能性があるため、その都度注意が必要です。

◆会員一般表彰
(令和4年度実績)

大坪美代子さん(朝倉ブロック)
 中平 利和さん(三里ブロック)
 北村 聰幸さん(潮江ブロック)
 内田 敏治さん(朝倉ブロック)
 杭野 悟さん(天津介良ブロック)
 田岡 壮一さん(秦ブロック)
 祖父江静子さん(一宮ブロック)
 浜田 孝さん(潮江ブロック)
 川村 佳子さん(初月ブロック)
 松原 忠史さん(潮江ブロック)

◆会員特別表彰
(令和4年度実績)

溝渕 康子さん(鴨田ブロック)
 大崎 壽重さん(旭ブロック)
 吉川 陽一さん(高須五台山ブロック)
 高村三禧子さん(秦ブロック)
 中城 彬さん(旭ブロック)

◆発注者感謝状 3団体
(令和4年度実績)

特別養護老人ホームふるさとの丘株式会社とさのさと
 金星製紙株式会社
 (敬称略)

◆理事長表彰規定

(表彰の種類)
 第3条 前条の表彰は、次のとおりとし、該当する者に対して行う。

◆会員一般表彰
 センター会員の在籍期間が3年以上で、就業実績が優秀で他の会員の模範となる者

◆会員特別表彰
 センター会員として、15年以上在籍し、センター事業発展に寄与した者

◆会員功労表彰
 ブロック活動において、ブロック長や班長・副班長として5年以上在籍し、センター事業発展に寄与した者

◆その他
 理事長が特に必要と認めたる者

◆会員功労表彰
(令和4年度実績)

岡村 正弘さん(城西ブロック)
 鈴木 總吾さん(長浜ブロック)
 武田 昭男さん(朝倉ブロック)
 岡崎 忠顕さん(旭ブロック)
 高村 宣生さん(朝倉ブロック)

大福引大会 当選おめでとうございます



特等賞
旭ブロック
西内 義明さん
SHARP テレビ
AQUOS19型



一等賞
高須五台山ブロック
戸椋 良喜さん
鹿児島産黒毛和牛
ヒレステーキ



一等賞
朝倉ブロック
高村 宣生さん
鹿児島産黒毛和牛
ヒレステーキ

令和4年度
ブロック総会

一宮ブロック総会



と き：令和5年3月14日(火)午後10時～12時
ところ：一宮ふれあいセンター
参加者：会員10名、事務局2名

杉本ブロック長の開会宣言、挨拶の後、一宮小学校の児童からシルバリー見守り隊へ感謝の手紙が届いた旨の報告がありました。

続いて藤原局長より挨拶のあと、議題に入りブロックの現状、活動の報告、役員改選がありました。

- 杉本ブロック長 退任
新ブロック長・立仙貴俊(承認)
- 一班班長・副班長 (未承認)
- 二班副班長・大野正基(承認)
- 三班班長・副班長留任(承認)

一班は候補者が決まらず後日の報告となりました。会員からの質疑が無かった為、出席者全員の自己紹介と就業状況を発表して閉会となりました。
(池田)

城西ブロック総会



と き：令和5年3月17日(金)午後10時～11時半
ところ：高知市小高坂厚生センター
参加者：会員20名、事務局2名

岡村ブロック長の開会宣言、挨拶に続き、藤原局長から現状報告がありました。

事務局への意見質問に移り、複数の会員から「新会員を増やす努力ばかりでなく、一生懸命働いてきた古い会員をもっと大切にしてほしい」という主旨の強い要望がありました。事務局のより丁寧な対応と双方の意思疎通への一層の努力が必要かと思われま

す。

次に「就業中にかかった病気にっ

いて(シルバー保険適用外なので)

これをカバーする保険を作ってはど

うか」という意見が出されました。

役員改選は「まだ調整の必要があり

改めてお知らせします」とブロック長

の説明があり閉会になりました。(重松)

高須五台山ブロック総会



と き：令和5年3月22日(水)午後10時～12時
ところ：東部健康福祉センター
参加者：会員10名、事務局2名

長崎ブロック長の開会宣言、挨拶の後、山本学コーディネーターを招き「ラジオ体操の効果について」をテーマに講演がありました。講演を終了し、全員で正しいラジオ体操を体験しました。

10分の休憩後、藤原局長の挨拶に続いて議題に入り現状報告、役員改選と全ての議題はスムーズに進行しました。

役員改選は、ブロック長はじめ各班の役員全員留任となり承認されました。続いてその他の議題に移りましたが質疑が無かったため、出席者全員の自己紹介と就業状況を発表して閉会となりました。
(池田)



鏡土佐山ブロック総会



と き：令和5年3月22日(水)午後2時～4時
ところ：鏡中央公民館
参加者：会員4名、事務局2名

大崎ブロック長の開会宣言、挨拶のあと、議題に入り役員改選についての協議が行われました。大崎ブロック長他、一班、二班の役員は全員留任で承認されました。

続いて地域組織活動費収支報告があり承認されました。

藤原局長から挨拶、令和4年度の事業活動報告があり、令和5年度の事業説明と協力要請がありました。

その後、ブロック長から夫婦ならではの活動についてお話があり、場を盛り上げていただき楽しく意見交換をしたあと閉会となりました。
(事務局)



城東ブロック総会



と き：令和5年3月23日(木)午後10時～12時
 ところ：ちより街テラス
 参加者：会員15名、事務局2名

司会者の開会宣言、ブロック長の挨拶、事業報告のあと藤原局長より会員の増員、仕事のマッチングが今後の課題であることが報告されました。続いて議題に入り役員改選後、5年度の取組目標として「子ども見守り隊」の設立を検討しているが、決定については後日にお知らせするとの報告がありました。藤原局長より、この活動は大歓迎だが年齢、学校交渉、人員、活動時間など課題があることが補足されました。

質疑で不燃ゴミ就業について各ブロックが連携、協力できないかという提案がありました。

ブロック長、藤原局長より「片寄った就業にならないよう、協力体制を創っていく」と回答がありました。最後に出席者全員の自己紹介と就業状況を発表して閉会となりました。(吉村)

長浜ブロック総会



と き：令和5年3月24日(金)午後10時～12時
 ところ：ちより街テラス
 参加者：会員9名、事務局2名

高島ブロック長の開会宣言の後、藤原局長より挨拶と高知市シルバー人材センターの現状報告がありました。続いて議題に入り役員改選がありました。

● 高島ブロック長 退任
 新ブロック長・森岡清介 (承認)

● 三班班長・森岡清介に替り浜窪敏子承認
 ● 一、二、四班は留任 (承認)

役員改選は全て承認され、続いて質疑応答に移りました。

「久しぶりの総会なのに出席者が少ない各班長、副班長がもつと声掛けしてください」「総会に出席したいが、平日は就業しているので曜日に気が付かって欲しい」。これらの要望にブロック長は総会の開催を決めたのが遅くなり対応が遅れたことをお詫びし、事務局は今後検討しますと回答しました。(池田)

潮江ブロック総会



と き：令和5年3月24日(水)午後2時～3時半
 ところ：潮江市民図書館
 参加者：会員20名、事務局2名

徳田ブロック長の開会宣言、挨拶に続き藤原局長から令和4年度の実績資料に基づいて説明と報告がありました。

続いて議題の役員改選に移りました。

● 四班班長 佐々木文夫 (新任)
 ● 四班副班長 江本愛子 (新任)

以外は留任となり、承認されました。藤原局長より会員獲得の為、チラシ配布を考えていることや、前班長より、ブロックの班長・副班長の役割や見守り活動の人員の予定表を作成するなどの話があった後、ブロック長が閉会宣言をしました。(事務局)

初月ブロック総会



と き：令和5年3月27日(月)午後10時～12時
 ところ：初月ふれあいセンター
 参加者：会員8名、事務局2名

小笠原ブロック長の開会宣言、挨拶のあと出席者全員が自己紹介をしました。自己紹介をしたことで打ち解けた雰囲気となり、その後の議事進行もスムーズに運びました。

その後、議題に入り役員改選について協議が行われ、ブロック長、副班長の全員が留任となりました。続いて令和4年度の事業報告があり承認されました。

五年度の事業計画では、子ども見守り隊の再開について協議されましたが、今後の検討課題ということになりました。

事務局との意見交換では、入会しても就業依頼がこないとの話がありました。藤原局長から出来るだけ皆様に公平に就業機会があるように努力していきますのでよろしくお願ひしますとのことでした。(事務局)



第43回 定時総会を

取材して

5月31日（水）久しぶりの本格的な定時総会が高知会館で開かれました。司会の城東ブロック藤崎靖啓さんにより、規定による総会の成立が確認されました。

開会宣言、理事長挨拶に続き、高知市長と高知労働局長より祝辞がありました。次に発注者3団体に感謝状が贈呈され、続いて会員一般表彰10名、会員特別表彰5名、会員功勞表彰5名に表彰状が授与されました。議長に旭ブロック西郷泰和さんを選出し、議長により議事録署名人と書記を指名、本題に入りました。議案書の次第に従って報告と議案審議がなされ、原案どおり承認されました。

審議の過程で「インボイス制度への対応に関する情報開示」と「就業中の事故に対する個人の賠償額」について要望があり、「検討の上改めて説明します」と事務局の回答がありました。

最後に「会員は平等に年会費を納め当センターを支えている。就業の配分は公平にお願いしたい」「印刷ミスによる二重の郵送料を節約する努力を」との率直な提言が、女性会員からありました。

野村卓司副理事長が閉会にあたり「頂いた宿題に真摯に答えていきたい」と締めくくりました。（重松）

ブロック総会を

取材して

多くのブロックが新型コロナウイルスの規制が緩和されたタイミングで急遽開催を決定したようです。

3年間ブロック総会中止がもたらした影響は大きく、ブロック活動が停滞したり、役員と会員とのコミュニケーションが取りづらくなっていったようです。

その為か、ブロック長や班長の交代時期にある中で、後継者の人選に苦勞されているブロックが複数ありました。

このような厳しい状況下でも全てのブロックが「いきがい高知」を会員の手元に届け、事務局発信の最新情報や会員の近況等を共有できました。紙面をお借りし、感謝申し上げます。

当センターにとって、各ブロックの活発な活動が運営の基盤となっております。その為、各ブロックとの連携を充実し、ブロック活動の再活性化や円滑な運営を図ることができるよう、事務局のテコ入れも必要かと思われました。

今秋までに総会を開催予定のブロックが残されていますが、沢山の参加者と活発な意見交換を期待します。（池田）

ブロック長にきく



城西ブロック長
岡村正弘さん(86歳)

4月25日（火）の午後、当センター会議室でお話を伺いました。ご多忙のところ気軽に時間を割いていただき、編集員3名とござつくばらんな懇談ができました。以下は岡村さんのお話の要点です。

*城西ブロックは、東西はカルポートから上町5丁目まで南北は鏡川から高知駅まで高知市の中心部を広く網羅しています。会員数は51名（男30名女21名）で就業率は76.5%（令和5年3月末現在）です。

*範囲が広すぎて会員さんとのつながりはブロック総会だけでした。コロナ禍に追い打ちをかけられ、総会の中止が続きましたが、班長さんたちとは何とか会話を続けてきました。現在の活動は「いきがい高知」の配布だけで手いっぱいというところです。

*就業に関してですが、当プロ

クの中にはお城周辺や城西公園の清掃作業があります。地元優先で就業先をお世話いただけるとうれしい、と常々思うところです。

*現在86才で、会員歴26年になります。前職は公立病院の放射線技師でした。定年退職後すぐ会員になり、下水工事関連や就業開拓などを行いました。高齢になり膝関節の不具合で、今は就業していません。

*ブロック長歴は23年に及び、自分自身が新陳代謝の必要性を強く感じています。ブロック総会が再開に向かう中で、ブロック長の役割を後輩に託したいと思っています。

最後に岡村さんの生きがいについて話していただきました。長らく「平和資料館・草の家」の館長を務め、戦争体験の語り部として活動しています。学校やその他の行事に呼ばれてお話しします。聴いて下さる方々の真剣な眼差しに支えられエネルギーをもらい、相当な回数をこなしてきました。

現在の世界情勢を見るにつけ、岡村さんがいつまでもお元気でこのライフワークを続けられることを願ってやみません。（重松）



お城下歴史探訪

悠久の白浜を訪ねれば



高知市春野郷土資料館蔵

菜切り
の浜に抱
かれた竜
頭の岩は、
静かなさ
ざ波の調
べに乗せ
て、ここ
にたたず

む年老い人に、幾つかあった昔の出来事を楽しみと語りかけてきます。それは何かと聞けば、その一つに昭和十二年五月二十六日夕暮れ前、一機の木製複葉機がこの浜に不時着したと話してくれました。今から八十六年前のことだそうです。

上海を飛び立ったフランスの複葉機（シムーン号）には、パイロットの飛行家マルセル・ドレーと機関士のミケリッチが、フランス東京間・百時間以内飛行チャレンジのため搭乗していました。ところが途中から天候が悪化して、東京まで飛ぶことが不可能となり、やむなく春野町の南側の浜に不時着してしまつたのです。パイロット

のドレーは海岸に不時着しようとしてしまつた。ところが砂浜は柔らかく、着地した機体は前のめりに回転し、機体とエンジン部分が分離してしまいました。

昭和初期の出来事です。飛行機と言えばライト兄弟が初めて空中を百メートル程飛んだのが始まりです。それからわずか三十四年後の出来事で、此処春野町甲殿の人たちは、めつたに見た事の無い飛行機が目の前に不時着したのですから、もう大騒動となりました。住民はもとより警察官や消防団の人たち、役場の人、新聞記者など総勢百人近い人たちが駆け付けました。そして散らばつた飛行機の部品や海中に沈みかけた機体の引き上げを行い、懸命な救助活動を行いました。

この事故で砂浜に倒れているドレーは頭部に大怪我をし、ミケリッチも顔や頭にけがをしていました。集まつた人たちが消防団の人は二人を自宅まで運び、水など飲ませたり、頭部に止血をしたりした後、地元の医院で応急処置を行い市内の日赤病院に入院させたという事です。めつたにないこの事故は日本はもとより、世界中のビックニュースにもなつたようです。治療をして退院しフランスに帰国するド

レーとミケリッチは、慈悲深い地元の方々のお宅を回り、助けてもらった感謝とお礼を言つてお別れをしたそうです。

そのような事件のあつた時と同じ五月のすずやかな風を受け、一人浜にたたずめば、他にもあつたいくつかの歴史上の事実に思いを馳せます。

そして菜切りの浜は、春野町の機微に生きた心温かな人々の素直な愛情を、心豊かに語りかけてくるようです。

（石川）
《協力》高知市春野郷土資料館



すわって話せるローカウンターになりました

事務局に新しいスタッフ



5月から入職しました
茨木康行です。
趣味は食べ歩き（特に
甘いものは大好きで
す）と飲み歩き。
恰幅はベテランですが
中身はピカピカの新入
社員です。早く慣れて、
皆様と共に歩みたいと
思います。





Photo Gallery



作品募集中

故郷に向く花

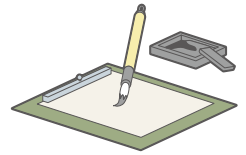
ヤクシマアジサイ

石川 二男 (鴨田ブロック)

この花の名は「ヤクシマアジサイ」。名前の通り屋久島にしか分布していない紫陽花だそうです。

6月の初旬、牧野植物園に出かけた時に見かけました。つい見過ごしてしまいそうな梅雨の林の傍に一株、西南の方に向かって静かに咲いておりました。

会員ひろば



続けたかった 実用書道

森下 欣子
高須五台山ブロック

私には文字を右肩上がりを書く癖がありました。文を書くとき曲がつてしまし、自分の名前を書くのも苦手でした。
数年前、私はシルバー人材センターの実用書道クラブに入りました。ここでは時節に則した語句を楷書や行書で学びます。
筆順や読み方、仮名文字交じりの俳句や短歌も習います。添削して下さる時、先生は必ず良い所を褒めて下さってから更に良くする

コツを教えてください。
お陰でクセ字も文の曲がりも少なくなり、自分の名前を書くのが楽しくなりました。
ところが、手術も出来ない眼病のある私はお手本の文字が見えづらくなり、相談すると先生は私の為に大きな文字のお手本を書いて下さいました。何とか続けられていたのですが、近頃では視野も狭くなり、自転車を通うのも危なくなつたので大好きなこの実用書道クラブを退会する決心をしました。
優しくご指導下さった白木先生、温かいお仲間の皆様、本当にありがとうございます。



お知らせ

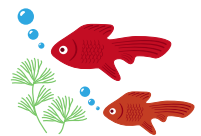
高知市シルバー人材センターのホームページです。スマホのカメラ機能で読み取ってください。
下記の情報を掲載しています。

- シルバーからのお知らせ
- 就業募集情報
- クラブ活動のご紹介



配分金支払日・入会説明会予定日 令和5年7月~10月の予定

◎配分金支払日	◎入会説明会	原則、第3月曜日 午前10時~11時30分
● 7月18日(火)	● 7月18日(火)	
● 8月15日(火)	● 8月21日(月)	
● 9月15日(金)	● 9月19日(火)	
● 10月16日(月)	● 10月16日(月)	



編集室

■ 定時総会では沢山の元気な笑顔に出会いました。90号の表紙を飾るため、笑顔の会員さんを撮影させて頂きましたが、全てを掲載できず残念です。お心当たりのある会員さんでご希望の方は、画像をお渡しいたします。(池)

■ 4年ぶりに通常どおり行われた定時総会、会員さんたちの笑顔が新緑の季節に輝きました。討論の成果が新たなスタートに生かされますように。編集部も新メンバー石川編集員を迎え、新しい風を感じています。ご意見・ご要望をお待ちしています。(重)

■ 「いきがい高知90号」に取り組む池田編集長と重松先輩の真摯な姿勢に胸を打たれました。お二人は会員の皆様に、正確で斬新な情報を限りなく多くお届けしようと、謙虚に取り組んでおられました。今回は総会もあり気の抜けない記事作りを意識し、ご両名のご尽力により90号が発行される運びとなり感激しました。(石)